



学校だより

No. 1

東京都立多摩科学技術高等学校

令和2年7月30日

校長先生より挨拶

校長 白鳥 靖

春から夏にかけて、日本では街なかでもよくツバメを見かけます。人家の軒先に巣を作るのは外敵から身を守る一つ的手段なのでしょう。親鳥が餌を運んでくると、雛たちは大きな口を開け、さらに自らを親鳥にアピールするかのよう大きな鳴き声で餌をねだります。その姿には、愛らしさと必死さを感じるとともに、親に頼らなければならない弱さや未熟さを感じます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの社会活動が制限される中、本校におきましても、年度当初からの約2か月間を臨時休業とし、入学式や遠足、体育祭など多くの学校行事を中止せざるを得ませんでした。本来であれば、新入生を迎え、活気あふれる学校生活を送られるはずでした。緊急事態宣言が解除された5月末以降、学校における教育活動も徐々に再開しておりますが、例年のような学校生活にはまだまだ遠いといったところです。教職員一同、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、「新しい日常」の定着に向けた指導を実施するとともに、生徒の安全・安心な学校生活に万全を期してまいります。

生徒のみなさんには、この間各教科からの課題に取り組んでもらいました。これまでのように、先生から授業で教わるができない状況の中、自ら教科書を読解し新たな知識を獲得するために励んだはずです。みなさんにはこの経験を大事にしてもらいたいと思っています。先生から与えられなければ学習できない弱く未熟な雛鳥ではなく、必要なものは自ら進んで獲得に動く一人前の成鳥として羽ばたいてください。

副校長先生より挨拶

副校長 萩原 直紀

本校は昨年度に10周年を迎え、今年は気持ちも新たに11年目へ向けて、次の一步へと踏み出しました。しかし、その矢先に新型コロナウイルス感染症が起り、全く授業ができない、生徒を登校させることのできない時期が続きました。学校に生徒がいないという不思議な状況が続きました。

そのような状況で感じたことは、やはり、学校とは生徒がいてこそ物だということでした。学習するための教室も探究活動のための設備も、それを使って学ぶ人がいてこそと思います。世界では勉強しなくても出来ない子供達が大勢いるとよく言われます。生徒の皆さんにはそのことをもう一度考えて、今、新しい知識を得られること、それまで出来なかった問題を乗り越えられる瞬間を、当たり前ではなく大事に思ってもらいたいと願っています。

そして、いつか、こんな大変な時代があったんだねと言えるように前へ進んでいってほしいです。

今年度赴任した先生

よろしくお願ひします。

- ・奥 正克(地 歴)
- ・黒田 聡(数 学)
- ・鴨下 智英(理 科)
- ・山本 愛(理 科)
- ・長尾 明子(英 語)
- ・工藤 晋(英 語)
- ・村井 園美(英 語)
- ・鈴木 俊宏(科学技術)
- ・谷内 松夫(科学技術)
- ・垣内 太地(科学技術)
- ・田中 優(養 護)

10月末までの行事予定

- 8月 1日(土)～8月16日(日) 夏季休業期間
- 8月11日(火)～12日(水) 閉庁日
- 8月17日(月) 始業式・防災講話 課題テスト(1, 2年)
- 8月19日(金) 登校禁止
- 8月20日(金) PM～23日(日) 登校禁止
- 9月 8日(火) 進研マーク模試(3年)
- 9月 8日(火) PM 進研マーク模試(3年)
- 9月15日(火) 課題研究発表会
- 9月28日(月)～10月3日(土) 授業公開
- 10月 1日(木) 都民の日(閉庁日)
- 10月 5日(月) 進研記述模試(3年)
- 10月13日(火)～16日(金) 2学期中間考査
- 10月22日(木) 一斉検診
- 10月28日(水) 進研記述模試(1, 2年)
- 10月29日(木) AM 授業
PM 避難訓練 生徒総会